



栄養サポートプロセスの展開に必要な患者情報や病態変化の把握、計画への活かし方を学ぶ

実践事例で包括的な 栄養アセスメント 現場で使える進め方・考え方



※講義時間：90分

栄養アセスメントの基礎知識はわかったけど、実践ではどう考えているの？そのような声にお応えして、本セミナーでは事例に沿って必要な栄養サポートの進め方を解説します。スクリーニングから栄養アセスメント、栄養管理の計画、実施、モニタリングまで、どのような視点で患者の病態を把握し、適切な栄養サポートを実践するか、管理栄養士はどのように関わらすべきかを具体的にイメージしやすく学びます。

宮澤 靖氏

東京医科大学病院 栄養管理科 科長／東京医科大学 医学部講師
京都光華女子大学 客員教授／日本栄養経営実践協会 代表理事

アメリカ静脈・経腸栄養学会認定栄養サポート栄養士 (NSD)、日本静脈経腸栄養学会 (JSPEN) 認定NST専門栄養療法士。臨床における栄養部門の役割拡大を考え、米国エモリー大学医学部にてNSTを学ぶ。日本では長野市民病院、鈴鹿中央病院、近森病院など数多くの病院のNSTの立ち上げと運営に携わってきたNSTと栄養サポートの達人。

スクリーニングからモニタリングまで
栄養サポートにおける捉え方、考え方を学びます
入院→治療終了の流れに沿って
ポイントをイメージしやすく、具体的に！

プログラム

事例で学ぶ 栄養サポートに必要な考え方とアセスメントの大事なポイント

- 実践事例①：30代 (心筋梗塞・II型糖尿病)
- 実践事例②：90代 (心不全・認知症)

現場でよく出合いそうな2つの事例に沿って、スクリーニングから治療終了まで、患者のどこをみて情報を集め、どうアセスメント、プランニング、モニタリングしているのかを実践的に詳しく学びます

【必要な視点と学習のポイント】

- ・現病歴、身体計測値、来院時所見から適切な“スクリーニング”
- ・栄養不良リスクのある患者の“栄養アセスメント”のポイント
- ・栄養面の問題を踏まえて“プランニング”し、栄養サポートの実施
- ・病態の変化などによる栄養の“モニタリング”の重要性

録画配信

[視聴期間]

オンライン

約2週間

申込2~3日後から
視聴できます。

受講料
(税・送料込)

一般 13,000円 会員 10,000円

※教材：PDFテキスト付 (ダウンロード、プリントアウト可)
冊子テキスト (32頁) を希望の方は別途1,500円

プログラムや講師プロフィールなどセミナーの詳細はこちらから▶

日総研 17610

検索

関連雑誌

Web教材+隔月刊誌 (定期刊行物・会員制)

認知症看護と看取りの実践・教育に！

臨床 老年看護

B5判 96頁
入会金 3,000円
年間購読料
18,900円 (共に税込)

今後の特集

- 認知症の行動・心理症状の治療と対応 [11-12月号]
- 高齢者糖尿病の知識とケア [11-12月号]
- 高齢者の尊厳について考える [11-12月号]
- 専門看護師に学ぶ老人看護 [1-2月号]
- 高齢者・認知症者の排便ケア [1-2月号]
- 専門職の連携と教育 [1-2月号]

日総研 接遇大賞

優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞

検索

学費の最大70%が給付される
専門実践教育訓練給付金指定講座

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

日総研 社会福祉士

検索

お問合せ

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索